

参観のねらい

小学校入学直後(スタートカリキュラムの段階)の子ども達の様子を保育園・幼稚園の職員に参観していただき、子どもの学びと育ちに関して情報を交流する。

入学式後 登校3日目の授業参観

～湯口保幼職員とのスタートカリキュラム共通理解～

4月12日 1校時目

湯口小学校

☆スタートカリキュラム参観を設定した理由☆

昨年度までの取組みでは、交流会においてアプローチカリキュラム時の姿を職員同士で見合うことができていたものの、卒園児が入学した直後の姿を見る機会は無く、職員間でスタートカリキュラムの共通理解をすることがあまりできていなかった。今後のアプローチ→スタート→アプローチ→・・・という保幼小カリキュラムの循環がより良いものになるよう、今年度初めてこの早い時期の参観を設定した。

※ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

- 健…健康な心と体 自立…自立心 協…協同性 道…道徳性・規範意識の芽生え 社…社会生活との関わり 思…思考力の芽生え
- 自…自然との関わり・生命尊重 数…数量・図形、文字等への関心・感覚 言…言葉による伝え合い 豊…豊かな感性と表現

☆授業の実際☆

学習活動	活動内容	授業の中で感じ取られた{10の姿}とのつながり
1 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・机の上に出すものや置き方を視覚化し、確認しながら準備する。 ・「起立・着席」の仕方。 ・声のものさしを見ながら、場に応じた声の大きさを知る。 ・読むときの正しい姿勢の仕方を唱えながらやってみる。 (「足はペタン、背中はピン、背中とおなかにグーひとつ」) 	
2 国語「あさ」の音読	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">正しい姿勢については、昨年度の幼保小交流会「第3回きらきら集会」(2月実施)で、体験している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あさ」の範読をきく。 ・正しい姿勢に気を付けながら、追い読みをする。 	
3 国語「どうぞよろしく」 自己紹介ゲームの準備	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙を1枚ずつ後ろの子へ渡す。(「どうぞ」「ありがとう」と声をかけながら) ・鉛筆の正しい持ち方を唱えながらやってみる。 (「えんぴつつまんで もちあげて すうっとたおして なかゆびまくら」) ・ひらがなで自分の名前を書く。 ・目安となる時間を時計で事前に確認する。 ・自分が好きなもの、または、好きな遊びの絵をかく。 (色鉛筆の描画) 	
4 片付け・あいさつ	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">悩んでいる子には、幼稚園・保育園の職員も声がけをした。</p>	

☆交流会で出された意見☆

- ・園生活で使われているような声がけを取り入れたり、絵をかくなど教科の枠にとらわれない内容で興味・関心をもたせたりするなど、無理なく学校生活になじんでいけるような配慮があった。
- ・一つ一つの学習が初めてのことばかりだったが、絵をかく活動になったときに子ども達の気持ちが切り替わった。子ども達にとって新しいことばかりの中で、絵をかくことは経験してきたこと、自信をもってできることであったからだと考えられる。
- ・座っている時間が長かったので、気分を切り変える活動があったほうがよかった。

☆ 次年度に向けての考察☆

- 授業の中で、どのようなところで幼児期の学びが生かされているかを話し合うことができ、幼児期の教育と小学校での教育のつながりを共通理解することができた。
- 就学時の子どもの姿について意見交流を行い、その後のスタートカリキュラムの活動内容等を修正できたことは有意義であった。
- 保育園・幼稚園の職員がスタートカリキュラムの時期の子ども達の様子を参観することによって、就学を見据えた年長児のイメージを持つことにつながるので、計画に位置付けていく。
- ◆スタートカリキュラム時期の授業参観で、保育園・幼稚園の職員も参加する相互参加型の授業参観の実施も考えられる。
- ◆適応指導的な要素が多くあった。子どもたちの主体性を引き出す活動の設定と発問の工夫を意識してカリキュラムを見直していく必要がある。